

ISO/TC249 WG1会議

12月2日-3日に日本経済大学、渋谷キャンパス246ホールにて、ISO/TC249 WG1会議(原材料および伝統的加工の品質と安全性に関する分科会)が開催された。

中国、韓国を中心に海外からは、Web参加も含めて約20名、日本からは、日漢協所属のエキスパート5名、オブザーバーを含めて26名が参加した。



会議では、生薬の国際規格化の優先順位を規定した新規規格 (ISO/TR 23975) の発行などのトピックスが紹介されたあと、20の議題についてプロジェクトリーダーから発表があり、議論が交わされた。

日本の基本的なスタンスは、限定された規格値やマーカ化合物名を本文には記載せず、Annexに記載することで日局に影響しないようにすることである。今回の会議においても、この基本スタンスを主張し、すべてが受け入れられた。全体として多くの意見は上がったものの、コンセンサスを基本にして結論が導かれ、円滑に議事が進行した。最後に、推奨事項 (Recommendation) が採択されて会議は終了した。



【TC249 WG1 事務局長 周華先生】

次回のWG1会議は、ISO/TC249全体会議に合わせ、2020年6月1-2日にオランダ (Arnhem) にて開催されることが確認された。



【川原 信夫 先生】



【袴塚 高志 先生】

1日目の会議終了後、セルリアンタワー東急ホテルに移動して懇親会が開催された。
途中でサプライズがあり、日本薬科大学のKorean倶楽部によるダンスが披露された。

軽快なダンスに合わせて、お互いの親睦を深め、盛況のうちに散会した。



The 14th ISO/TC249/WG1 Meeting

• Date : 2-3 December 2019

• Venue :
TSUZUKI EDUCATION GROUP
Japan University of Economics
Tokyo Shibuya Campus 246 Hall
Tokyo Japan

• Hosted by the Japan Liaison
of Oriental Medicine(JLOM)
Supported by Tsuzuki
Education Group

